委員会における振る舞いについての確認

議会運営委員会において、以下の3点についてご確認の上、対応を協議いただければ幸いです。

1. 不適切な行為があったかどうかの確認

6月25日の議会運営委員会における奥村副議長の以下の振る舞いについて、議会として適切であったかを確認するもの。

- ①委員でないものが委員に対してメモを渡すこと
- ②スマホで写真を撮影すること
- ③委員でないものが委員に対してスマホからメッセージを送信すること
- ④委員でないものが委員に対してジェスチャー等で指示を出すこと

2. 不適切な行為があった場合の対応

不適切な行為があった場合、市議会として適切な対応が必要であると考えます。仮に、本件を不問に付すことがあれば、馴れ合いであるとの誹りを免れることは出来ず、市議会に対する信頼を回復することを困難にする恐れがあります。

また、公正な手続きを経ることで、本人に対して弁明の機会を与えることにもつながります。こうした手続きの結果として、お咎めなしという結論を得ることがあるならば、それは議会の意志として認められるべきものと考えます。

3. 再発防止に向けた取り組み

不適切な行為があった場合、問題点を整理の上で再発防止に向けた取り組みが必要かどうかをご議論ください。